

Kansai Economic Insight Monthly

2017/7/25

Vol.51 June/July

・ APIR “Kansai Economic Insight Monthly”は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。

・ レポート公開時期は毎月第 4 週火曜日を予定しています。

・ 執筆者は、稲田義久(甲南大学教授、APIR 数量経済分析センター長)、木下祐輔(APIR 調査役)・生田祐介・Cao Thi Khanh Nguyet (各 APIR 研究員)及び豊原法彦(関西学院大学教授)です。

・ 本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の 2 府 4 県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

目次

要旨	1
関西経済のトレンドと CI, CLI	2
景気の現況	3
関空モニター	9
中国景気モニター	10
主要月次統計	14
Release Calendar	15

要旨

-景気は足下改善が続くも、先行きは足踏みの兆し*-

- ✓ 5月の鉱工業生産指数は2カ月ぶりの前月比マイナス。しかし4-5月平均は1-3月平均比上昇した。1-3月期は一時的な減産となったが、4-6月期は増産が期待できよう。
- ✓ 6月の輸出は5カ月連続で前年比増加、輸入も4カ月連続で同増加。円安や原油高の影響などから輸入の伸びが輸出を上回り、貿易収支は黒字となったものの、黒字幅は縮小した。
- ✓ 6月の消費者態度指数、景気ウォッチャー現状判断DIはともに改善。好調なインバウンド消費や天候要因等が景況感を押し上げた。また、猛暑予想による季節商品の売上増加への期待から、先行き判断DIは3カ月連続で改善した。
- ✓ 4月の関西2府4県の現金給与総額は前年比2カ月連続で増加したものの、「関西コア」賃金指数は2カ月ぶりの悪化。賃金の伸びは弱い。
- ✓ 5月の大型小売店販売額は2カ月ぶりの前年比マイナス。百貨店はインバウンド需要などが好調であったが、スーパーは食料品の低調が続いた。結果、大型小売店販売額は前年比減少。
- ✓ 5月の新設住宅着工戸数は4カ月ぶりの前年比プラス。持家と分譲はマイナスとなったが、貸家は大幅増加したことによる。
- ✓ 5月の有効求人倍率は4カ月連続の改善。労働需給は非常に引き締まった状態が続く。新規求人倍率は2カ月連続の上昇。完全失業率は3カ月ぶりに悪化した。雇用環境は好調である。
- ✓ 6月の公共工事請負金額(季節調整値)は2カ月連続の前月比マイナスだが、4-6月期は4四半期ぶりの前期比プラスとなった。
- ✓ 6月の関空への訪日外客数は58万4,730人となり、4カ月連続で増加。一方、4-6月期の訪日外客の平均支出額は、6四半期連続で減少だが、マイナス幅は縮小している。
- ✓ 中国の4-6月期の実質GDP成長率は、前年同期比+6.9%となり、1-3月期と同水準を維持した。

※景気の基調判断はAPIR(豊原法彦関西学院大学教授)開発の関西景気動向指数(CI, CLI)に基づいている。
関西全体のCI、試作CLIの推移は2ページを参照。

【関西経済のトレンド】

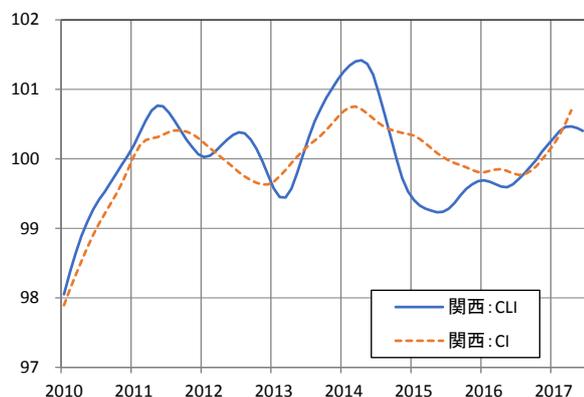
	2016年							2017年					
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
生産	↘	↘	↗	↗	↘	↗	↗	↗	↗	↘	↗	↘	
貿易	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↘	↗	↗	↗	↗	↘
センチメント	↘	↗	↘	↘	↗	↗	↗	↘	↗	↘	↗	↗	↗
消費	↘	↗	↘	↘	↘	↘	↘	↗	↘	↘	↗	↗	
住宅	↘	↗	↘	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↘	↗	
雇用	↗	↗	↘	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	
公共工事	↘	↗	↗	↗	↘	↘	↗	↘	↘	↘	↘	↗	↘
中国	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗

(*トレンドの判断基準)

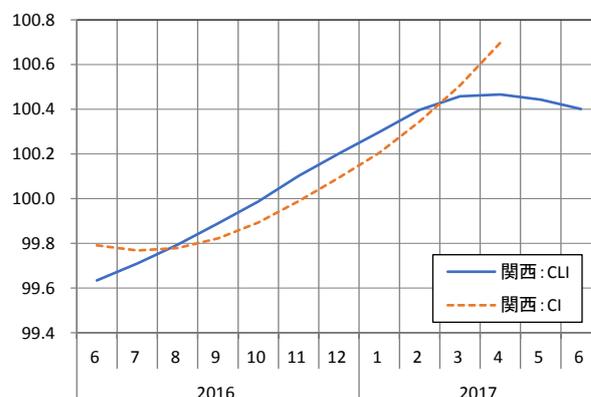
- ・**生産**: 近畿経済産業局『近畿地域広工業生産動向』生産指数(季節調整値)が前月比+0.5%以上であれば上向き、同-0.5%未満であれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・**貿易**: 大阪税関『貿易統計』の近畿圏貿易収支(入出超額)前年同月から500億円以上の改善は上向き、同500億円以上の悪化は下向き、それ以外は横ばい。
- ・**センチメント**: 内閣府『景気ウォッチャー調査』の近畿現状判断(方向性)DIが前月比で1ポイント以上の改善は上向き、1ポイント以上の悪化は下向き、それ以外は横ばい。
- ・**消費**: 近畿経済産業局『大型小売販売状況』(全店ベース)が前年同月比で1%以上増加していれば上向き、同1%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・**住宅**: 国土交通省『住宅着工統計』新設住宅着工戸数が前年同月比で5%以上増加していれば上向き、同5%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・**雇用**: 厚生労働省『一般職業紹介状況』有効求人倍率(季節調整値)が前月比で0.01ポイント以上の改善は上向き、変化がなければ横ばい、0.01ポイント以上の悪化は下向きとする。
- ・**公共工事**: 西日本建設業保証株式会社『公共工事前払金保証統計』公共工事請負金額が前年同月比で5%以上増加していれば上向き、同5%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。

【関西の景気動向指数(CI一致指数・試作CLI)の推移】

CI一致指数・試作CLIの推移(2010年1月~2017年6月まで)



直近1年間の推移(2016年6月~2017年6月まで)



【鉱工業生産動向】

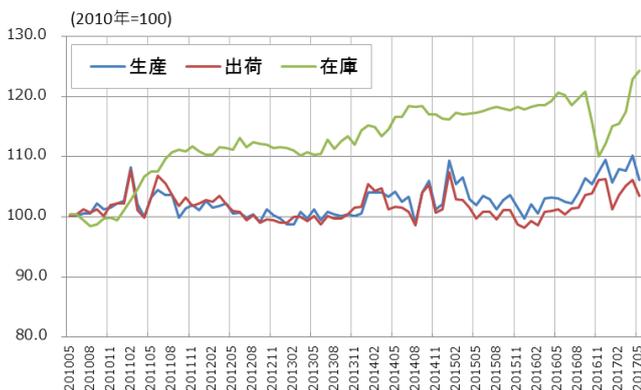
(1) 関西の生産動向

関西 5 月の鉱工業生産動向(速報値：季節調整済、2010年=100)によれば、生産は106.1で、前月比-3.7%と2カ月ぶりの低下。出荷は103.5で同-2.5%と4カ月ぶりの低下。結果、在庫は124.3で同+1.1%と6カ月連続の上昇。なお、生産と強い関係がある実質輸出(季節調整済、2010年=100)は103.1で、5月は前月比-3.1%と2カ月ぶりに下落した。

業種別に生産指数をみると、金属製品(前月比-25.4%、3カ月連続)、化学(除・医薬品)(同-9.7%、2カ月ぶり)、輸送機械(除・航空機・鋼船・鉄道車両)(同-12.3%、4カ月ぶり)等が減産となった。一方、はん用・生産用・業務用機械(同+7.6%、2カ月連続)、食品・たばこ(同+0.6%、3カ月ぶり)、プラスチック製品(同+0.4%、2カ月ぶり)等が増産となった。

結果、5月実績(生産)は前月比で減少したが、4-5月平均は、1-3月期と比べて+0.9%上昇している。4-6月期は生産の伸びが期待できよう(1-3月期：前期比-0.3%)。近畿経済産業局は「総じてみれば、生産は持ち直しの動きで推移している」と判断している。

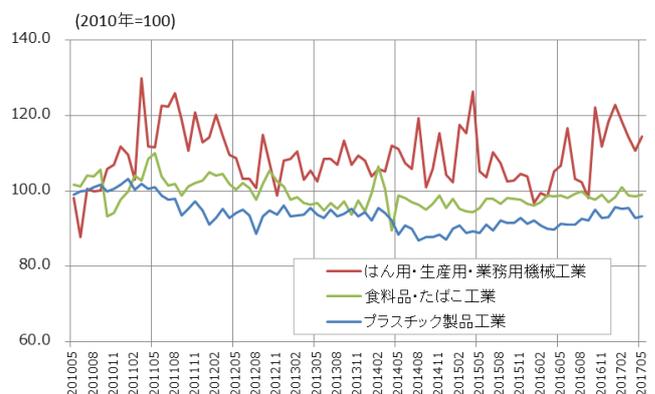
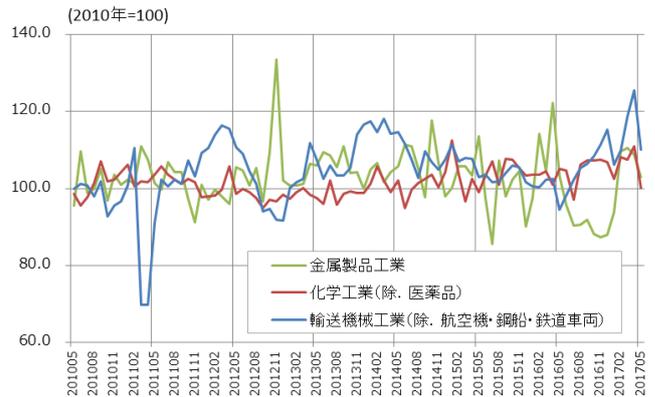
関西の鉱工業生産動向の推移(2017年5月まで)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

関西の業種別生産指数の推移(2017年5月まで)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

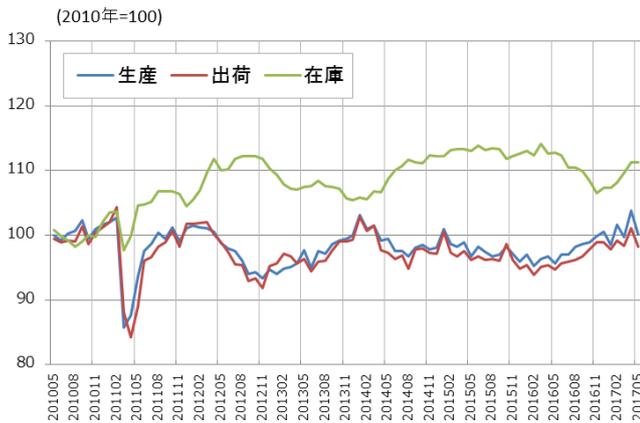
(2) 全国の生産動向

全国 5 月の鉱工業指数(確報値：季節調整済、2010年=100)の動向を見ると、生産は100.1となり前月比-3.6%と2カ月ぶりの下落。出荷は98.2で同-2.9%と2カ月ぶりの下落。在庫は111.3と同横ばいとなった。

業種別にみると、輸送機械(前月比-13.0%)、はん用・生産用・業務用機械(同-2.6%)、金属製品(同-6.3%)等は減産となった。一方、石油・石炭製品(同+2.3%)、食料品・たばこ(同+0.2%)等が増産となった。

結果、5月実績(生産)は前月比で減少した。しかし、製造工業生産予測調査によると、6月は前月比+2.8%の増産が予測されている。予測が実現すれば、4-6月期の生産は前期比+2.3%となり、前期(同+0.2%)より加速しよう。

全国の鉱工業指数の推移(2017年5月まで)



(出所) 経済産業省「鉱工業指数」

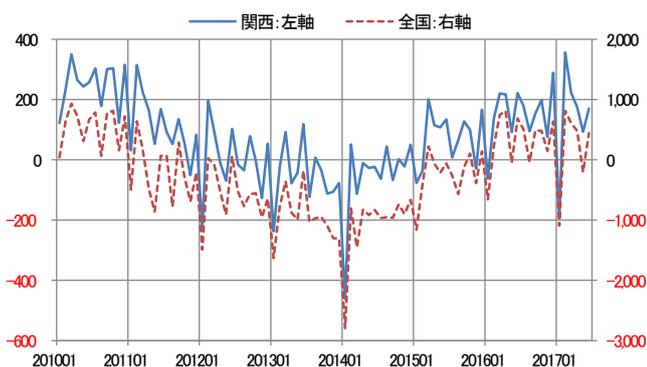
【貿易動向】

(1) 純輸出

貿易概況(速報値)によれば、関西6月の貿易収支は+1,697億円と5カ月連続の黒字となったものの、前年同月(+2,216億円)と比べて-23.4%と黒字幅は縮小した。2か月ぶりのマイナス。円安や原油高の影響などから、輸入額の伸びが増加したことによる。

また、全国の貿易収支(速報値)は+4,399億円となり、2か月ぶりの黒字だが、前年同月(+6,865億円)と比べて-35.9%と黒字幅は縮小した。

関西・全国の貿易収支の推移(10億円, 2017年6月まで)



(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

(2) 輸出

関西6月の輸出額(速報値)は1兆3,834億円で前年同月比+7.9%と5カ月連続の増加。財別に見れば、科学光学機器、遊戯用具等が増加した。

全国6月の輸出額(速報値)は6兆6,076億円、前年同月比+9.7%と7カ月連続の増加。財別に見れば、半導体装置、自動車、鉄鋼等が増加した。

関西・全国の輸出の推移(10億円, 前年同月比, 2017年6月まで)



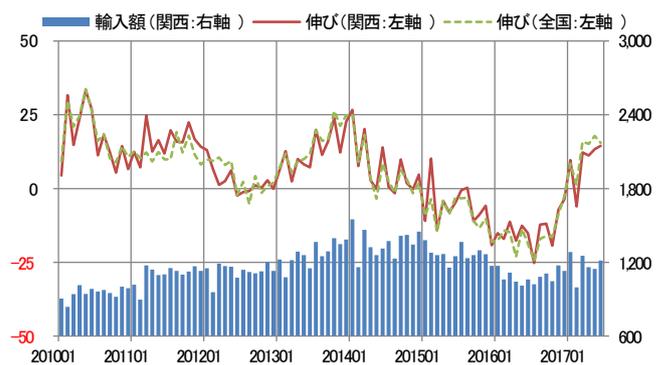
(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

(3) 輸入

関西6月の輸入額(速報値)は1兆2,137億円、伸びは前年同月比+14.5%と4カ月連続の増加。財別に見れば、天然ガス及び製造ガス、医薬品等が増加した。

全国6月の輸入額(速報値)は6兆1,676億円、前年同月比+15.5%と6カ月連続の増加。財別に見れば、石炭、液化天然ガス、電算機類(含周辺機器)等が増加した。

関西・全国の輸入の推移(10億円, 前年同月比, 2017年6月まで)



(出所) 財務省「財務省貿易統計」

(4) 関西の地域別貿易

関西6月の貿易収支を地域別に見ると、対アジア(含中国)貿易収支は+2,746億円と5カ月連続の黒字となり、黒字幅は前年同月比+16.4%拡大した。輸出は5カ月連続の増加

(同+7.9%)。財別に見れば、科学光学機器、電気回路等の機器等が増加した。一方、輸入は4カ月連続の増加(同+4.7%)。財別に見ると、がん具及び遊戯用具、鉄鋼等が増加した。

うち、対中貿易収支は-126億円と4カ月連続の赤字となった。輸出は8カ月連続の増加(前年同月比+16.8%)。財別に見ると、科学光学機器、半導体等電子部品等が増加した。輸入は4カ月連続の増加(同+1.2%)。財別に見ると、がん具及び遊戯用具、鉄鋼等が増加した。

対米貿易収支は+739億円の黒字となったものの、伸びは2カ月ぶりの減少(前年同月比-13.0%)。うち、輸出は2カ月連続の増加(同+12.0%)。財別に見れば、遊戯用具、電池等が増加した。輸入は7カ月連続の増加(同+37.5%)。財別に見れば、医薬品、半導体等製造装置等が増加した。

対EU貿易収支は-39億円と3カ月連続の赤字となった。輸出は2カ月連続の増加(前年同月比+13.7%)。財別に見れば、遊戯用具、原動機等が増加した。輸入は4カ月連続の増加(同+24.9%)。財別に見れば、有機化合物、たばこ等が増加した。

【消費者センチメント】

(1) 消費者態度指数の動向

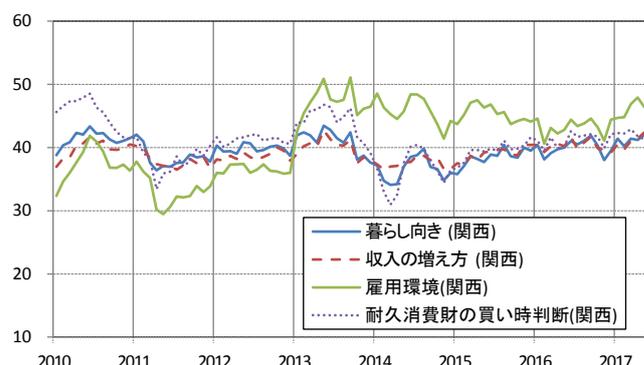
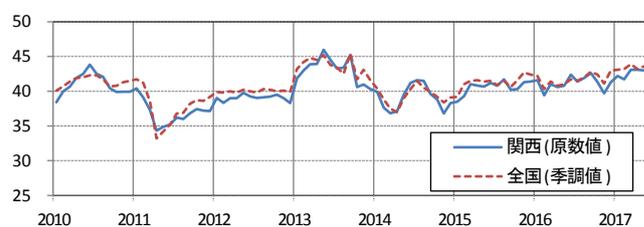
関西の6月の消費者態度指数(原数値)は43.2と前月比+0.2ポイント小幅上昇し、3カ月ぶりの改善。一方、全国(季節調整値)は同-0.3ポイント低下し43.3となり、2カ月ぶりの悪化であった。

関西の同指数構成項目を見ると、「雇用環境」が前月比+1.5ポイント、「耐久消費財の買い時判断」が同+0.5ポイントそれぞれ上昇した。一方、「収入の増え方」が同-0.8ポイント、「暮らし向き」も同-0.7ポイントそれぞれ下落した。

また、全国の同指数の構成項目を見ると、「雇用環境」のみ前月比+0.3ポイント上昇した。一方、「耐久消費財の買い時判断」は同横ばい、「暮らし向き」が同-1.1ポイント、「収入の増え方」が同-0.4ポイントそれぞれ下落した。6月からビール類を始めとした値上げが行われたこと、賞与の増

加が控えめだったことなどが要因とみられる。内閣府は基調判断を「持ち直している」として3カ月連続で前月から据え置いた。

消費者態度指数(2017年6月まで)



(出所) 内閣府「消費動向調査」

(2) 景気ウォッチャー指数の動向

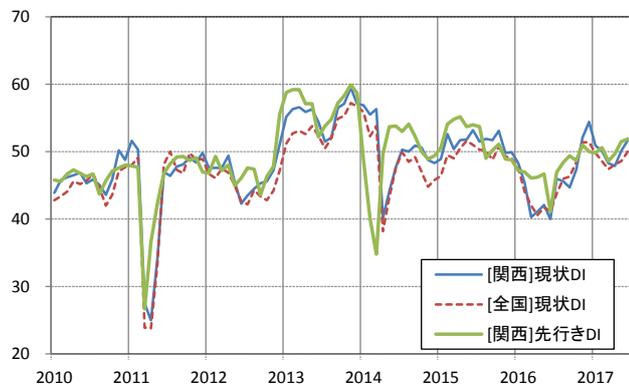
関西の6月の景気ウォッチャー現状判断DI(季節調整値)は51.7と前月比+1.6ポイント上昇し、2カ月連続の改善。景況感の良し悪しの分かれ目となる50を2カ月連続で上回った。依然として消費者の節約志向は強いものの、引き続きインバウンド関連消費が好調であることに加え、例年に比べて雨が少ない空梅雨が続き、百貨店等の客数が増加したことなどが上昇に寄与したとみられる。

一方、全国の同指数は50.0で同+1.4ポイント上昇し、3カ月連続の改善であった。好調なインバウンド需要と天候の良さが現状判断の改善につながった。

また、先行き判断DI(季節調整値)は、関西では51.9と前月比+0.4ポイント小幅上昇し、3カ月連続の改善。前月に続き、海外情勢について不安視するコメントは多いものの、猛暑予想による季節商品の売上増加や、インバウンド消費増加への期待から、先行きは改善が見込まれている。全国は

50.5 と同+0.9 ポイント上昇し、こちらも3カ月連続の改善であった。

景気ウォッチャー調査(2017年6月まで)



(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

【所得・個人消費・住宅】

(1) 現金給与総額

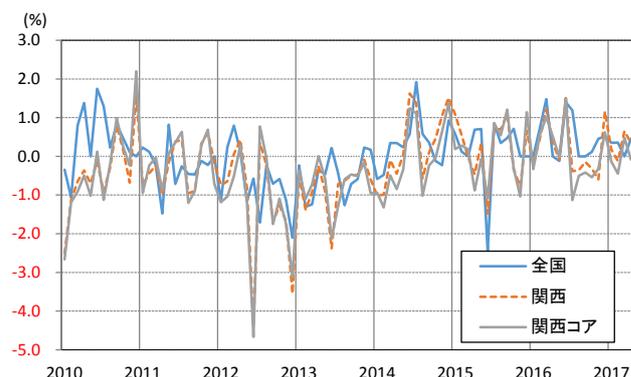
4月の関西2府4県の現金給与総額(APIR推計)は27万2,488円で前年同月比+0.4%となり、2カ月連続の増加。府県別では、和歌山県が同+5.8%(3カ月連続)、奈良県が同+4.0%(5カ月連続)、兵庫県が同+2.5%(7カ月連続)、滋賀県が同+0.8%(5カ月連続)とそれぞれ増加した。一方、大阪府は同-1.3%(10カ月連続)、京都府は同-0.1%(3カ月ぶり)とそれぞれ減少していた。

また、4月の京都・大阪・兵庫の加重平均をとった速報性のある「関西コア」賃金指数(APIR推計)は同-0.1%減少し、2カ月ぶりの悪化であった。賃金の伸びは弱い。

全国の現金給与総額(確報値)をみると、5月は前年同月比+0.6%増加し、2カ月連続の改善。内訳をみると、所定内給与は同+0.7%と2カ月連続のプラス。所定外給与は同+0.3%と3カ月ぶりのプラス。特別給与は同+1.3%と4カ月連続のプラスであった。

また、現金給与総額から物価上昇分(帰属家賃を除く総合)を除いた実質賃金は、2カ月連続で前年同月比横ばいであった。

現金給与総額(前年同月比、2017年5月まで)



(注)関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)はAPIR推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(2011年平均)で加重平均。

(出所)厚生労働省「毎月勤労統計調査」

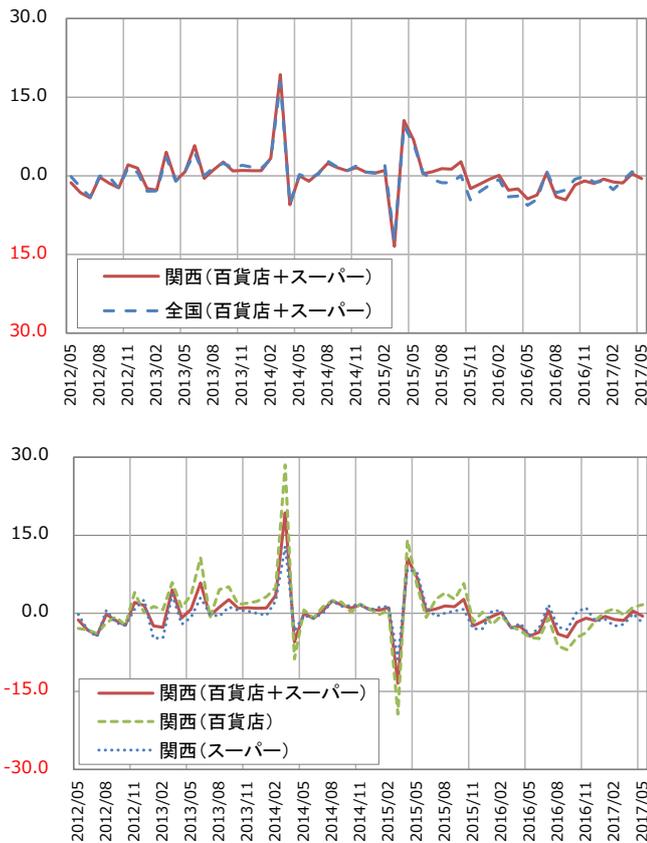
(2) 大型小売店販売額

関西5月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は3,090億円となり、前年同月比-0.5%と2カ月ぶりのマイナス。百貨店は同+1.7%上昇し、2カ月連続のプラス。スーパーは同-1.9%と6カ月連続のマイナス。百貨店については、インバウンド需要や母の日需要などが好調であった。スーパーについては、日曜日の数が前年より1日少なかったことと、食料品の低調が続いた。結果、5月の百貨店・スーパーの販売額は前年比で減少した。

全国5月の大型小売店販売額(全店ベース)は1兆5,881億円と、前年同月比-0.6%と2カ月ぶりの下落であった。なお、百貨店は同-1.1%と19カ月連続のマイナス。スーパーは同-0.4%と2カ月ぶりのマイナス。小売業販売額(前月比)の3カ月後方移動平均を見ると0.0%の横ばいとなっており、経済産業省は基調判断を「持ち直しの動きがみられる」と前月から据え置いた。

なお、関西の百貨店免税売上(日銀大阪支店)によると、5月は前年同月比+71.3%(前月+40.3%)と6カ月連続で二桁の伸びを示しており、インバウンド需要が依然として大きい。

大型小売店販売額(前年同月比：％、2017年5月まで)



(注) 福井県を含む。(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(3) 新設住宅着工の動向

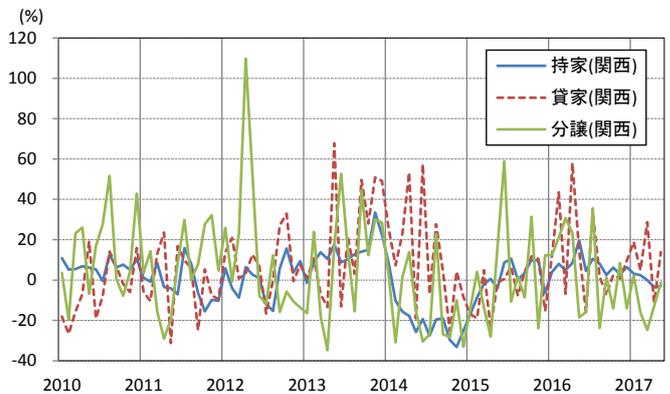
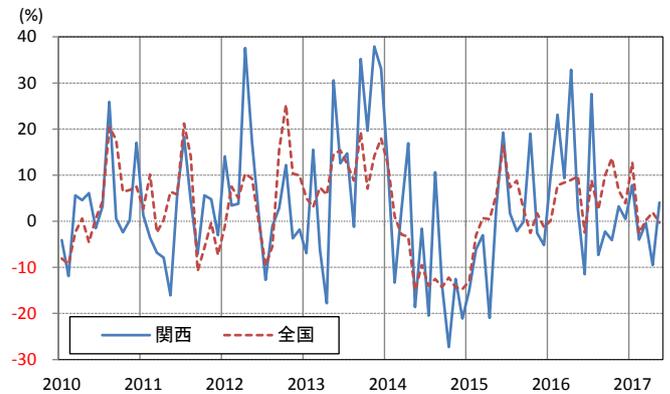
関西5月の新設住宅着工戸数は11,115戸と前年同月比+4.1%となり、4カ月ぶりの増加。全国は78,481戸と同-0.3%減少し、3カ月ぶりのマイナスとなった。

関西の住宅着工戸数を利用関係別にみると、持家は2,850戸で前年同月比-2.9%と3カ月連続のマイナス。分譲は3,282戸と同-1.3%減少し、4カ月連続のマイナス。一方、貸家は4,973戸で同+13.9%と先月(同-11.2%)からプラスに転じた。

6月の関西のマンション契約率は、77.9%(季節調整値：APIR推計)。好不調の目安となる70%を9カ月連続で維持している。一方、首都圏は65.0%(季節調整値：APIR推計)と前月から大幅に低下した。2017年上半期のマンション契約率を見ると、関西の契約率は76.9%となり、前年同期の71.8%に比べ、+5.1%ポイント上昇した。一方、同期の首

都圏の契約率は67.3%となっており、同-1.1%ポイント低下し、2年連続で70%を下回っている。

新設住宅着工戸数(前年同月比：2017年5月まで)



(出所) 国土交通省「住宅着工統計」

【雇用動向】

(1) 求人倍率の動向

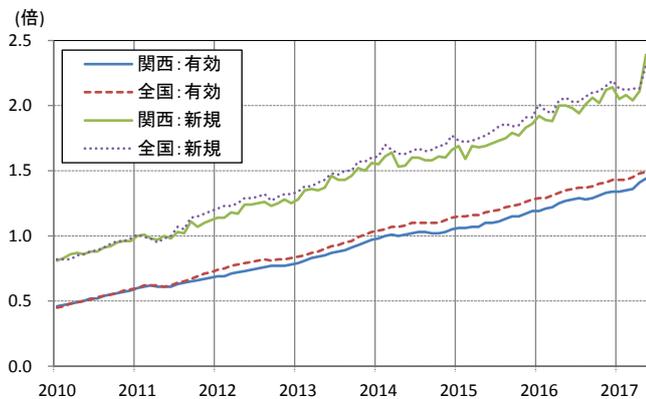
5月の関西の有効求人倍率は、1.44倍で前月比+0.03ポイント上昇し、4カ月連続の改善。1974年6月(1.52倍)以来の高水準が続いている。内訳をみると、有効求職者数が減少する一方、有効求人数が増加しており、労働需給が非常に引き締まっている。また、同月の全国は1.49倍で同+0.01ポイント上昇し、3カ月連続の改善。1974年2月(1.53倍)以来の高水準が続く。

関西の有効求人倍率を府県別にみると、前月に続き、全ての府県で上昇がみられた。大阪府、滋賀県、奈良県で前月比

+0.05 ポイント、京都府・和歌山県で同+0.03 ポイント、兵庫県で同+0.01 ポイントそれぞれ上昇した。

また、5月の関西の新規求人倍率は、2.39倍で前月比+0.28ポイントと2カ月連続の上昇。内訳をみると、新規求職者数が同-5.9%と大幅に減少したことで押し上げられているものの、一方で新規求人数も同+6.6%増加しており、企業の求人意欲は引き続き高い。また、4月の全国は2.31倍で同+0.18ポイントと2カ月ぶりの上昇であった。

求人倍率の推移(季節調整値、2017年5月まで)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」(下表も同様)

関西2府4県有効求人倍率(2017年4-5月)

	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
5月	1.49	1.44	1.28	1.52	1.57	1.27	1.29	1.28
4月	1.48	1.41	1.23	1.49	1.52	1.26	1.24	1.25

(2) 完全失業率の推移

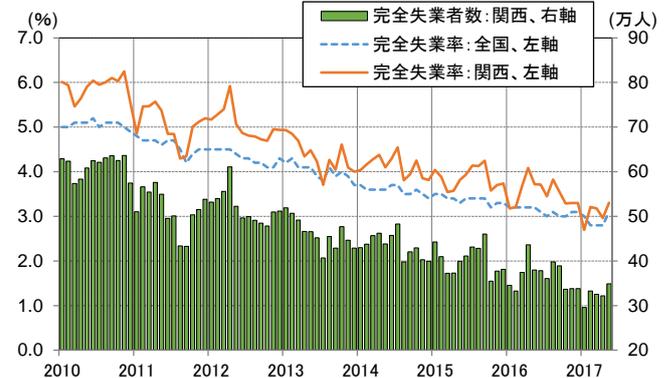
5月の関西の完全失業率(季節調整値: APIR 推計)は3.3%と前月比+0.3%ポイント上昇し、3カ月ぶりの悪化。しかし、内訳をみると、労働力人口の増加とともに、雇用者数も増加していることから、好調な雇用環境を背景に、労働参加率が上昇したことによるものであろう。

また、関西の完全失業者数(季節調整値: APIR 推計)は34.9万人で前月から+2.7万人増加し、3カ月ぶりの悪化であった。

5月の全国の完全失業率(季節調整値)は3.1%と、前月比+0.3%ポイント上昇。4カ月ぶりに3%を超えたものの、依然低水準であり、雇用情勢は堅調である。

全国の完全失業者数(季節調整値)は205万人で前月から+19万人増加した。理由別にみると、「自発的な離職(自己都合)」が同+8万人増加し、「非自発的な離職」は同+6万人増加、「新たに求職」は同+8万人増加していた。

完全失業率の推移(季節調整値、2017年5月まで)



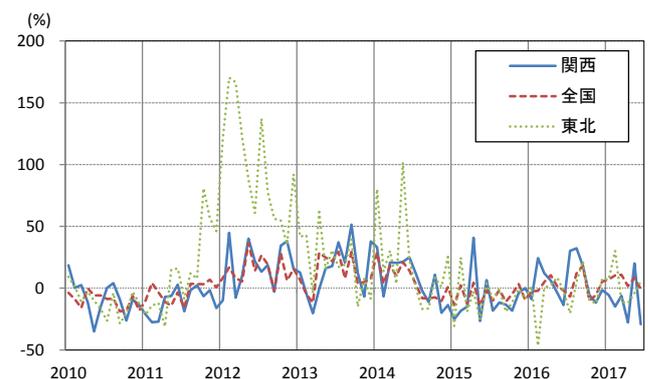
(出所) 総務省「労働力調査」

【公共投資】

(1) 公共工事請負金額

関西6月の公共工事請負金額は1,224億円で前年同月比-29.2%と2カ月ぶりのマイナス。全国は1兆5,185億円で同-0.6%と7カ月ぶりの減少。東北は2,925億円で同+5.6%と4カ月ぶりの増加。

公共工事請負金額(前年同月比、2017年6月まで)



(出所) 東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」

季節調整値(APIR 推計)で見ると、関西は前月比-29.7%となり、2カ月連続のマイナス。全国も同-8.4%と2カ月連続のマイナスとなった。4-6月期を前期と比較すると、

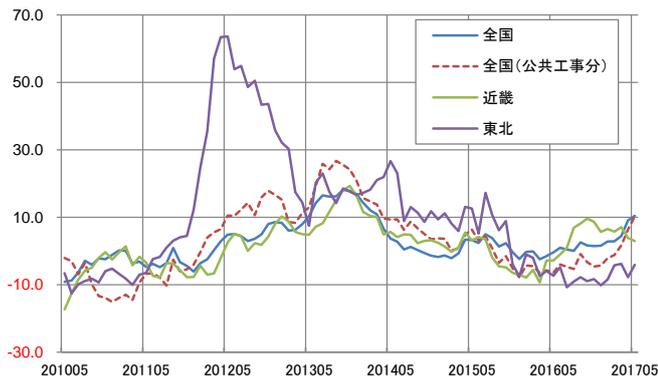
関西は+10.3%と4四半期ぶりのプラス、全国は同+1.0%と2四半期連続のプラスとなっており、補正予算の効果は着実に出ていとみられる。

(2) 建設工事

関西5月の建設工事出来高は4,651億円となり、前年同月比+2.9%と11カ月連続の増加。東北については4,395億円となり、同-4.1%と19カ月連続の減少。

全国5月の建設工事出来高は3兆9,031億円となり、前年同月比+10.5%と12カ月連続の増加。うち、公共工事は1兆4,286億円で同+10.3%と、3カ月連続の前年比プラスとなった。関西の建設工事は、全国と同様堅調な動きが続いている

建設工事(前年同月比:%, 2017年5月まで)



(注) 2016年4月分より新推計に基づく出来高の参考値を反映。
(出所)国土交通省「建設総合統計」

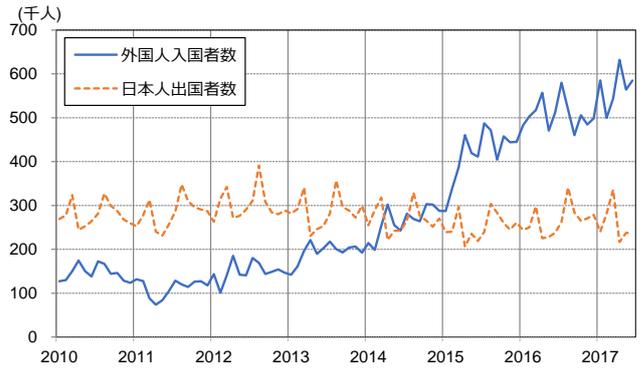
【関空モニター】

(1) 訪日外客数トレンド

6月の関空への訪日外客数は58万4,730人となり、前年同月比+14.2%と4カ連続で増加した。また、出外国人数は57万2,650人と同+17.7%増加しており、外国人旅客総数(出入国合計)は115万7,380人と同+15.9%増加した。

また、出国日本人数は23万8,390人で、前年同月比+0.3%と2カ月連続で増加した。訪日外客数は引き続き上昇トレンドが見られるが、出国日本人数はほぼ横ばいが続いている。

訪日外客数と出国日本人数(2017年6月まで)



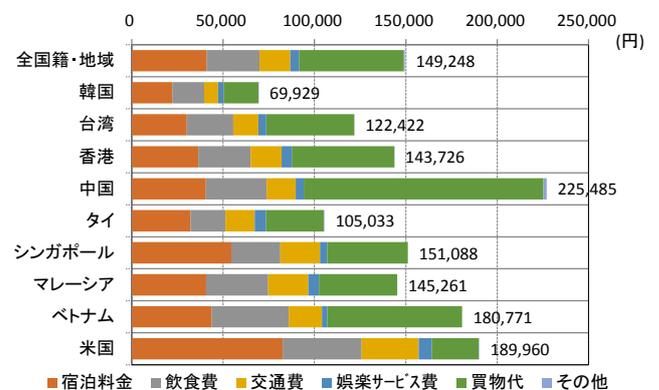
(出所) 一般財団法人関西空港調査会「KANSAI 空港レビュー」

(2) 訪日外客平均支出

2017年4-6月期に日本を訪れた外国人による平均消費額は14万9,248円(前年同期比-6.7%)で6四半期連続のマイナスであった(1-3月期:同-8.5%)。うち、中国の平均消費額は22万5,485円(同+2.5%)で6四半期ぶりにプラスに転じた。

その他の国々について支出額が大きい順に見ると、米国が18万9,960円(前年同期比-0.2%)、ベトナムが18万771円(同-24.2%)、シンガポールが15万1,088円(同-18.0%)、マレーシアが14万5,261円(同-14.0%)、香港が14万3,726円(同-2.9%)、台湾が12万2,422円(同-0.7%)、タイが10万5,033円(同-25.7%)、韓国が6万9,929円(同+0.9%)であった。

国籍別訪日外客平均支出額(全国, 2017年4-6月期)



(出所)観光庁「訪日外国人の消費動向」報告書より作成

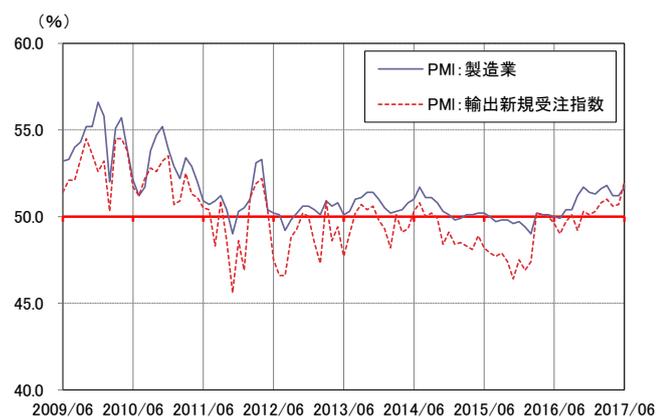
【中国景気モニター】

(1) センチメント

6月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は51.7となり、前月から+0.5ポイント上昇し、3カ月連続の改善。また、2016年8月以降、11カ月連続で景気判断の分岐点である50を上回っている。一方、非製造業購買担当者景況指数は54.9となり、前月から+0.4ポイント上昇。2カ月連続の改善となった。

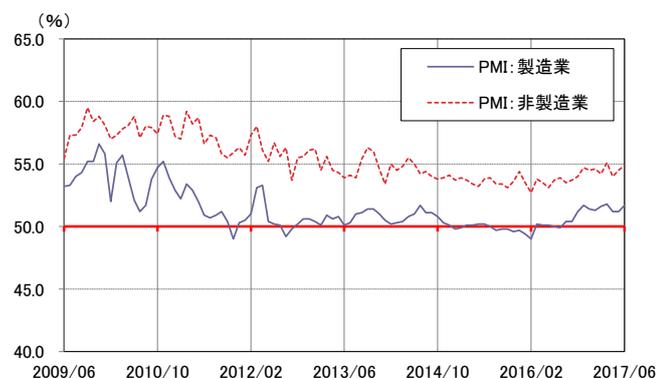
製造業PMIのうち、生産指数は54.4となり、前月比+1.0ポイント上昇(3カ月ぶり)。輸出新規受注指数は52.0となり、同+1.3ポイント上昇した(2カ月連続)。一方、雇用指数は49.0となり、同-0.4ポイント下落した(2カ月ぶり)。

中国製造業・非製造業購買担当者景況指数(2017年6月まで)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

中国製造業購買担当者景況指数(2017年6月まで)



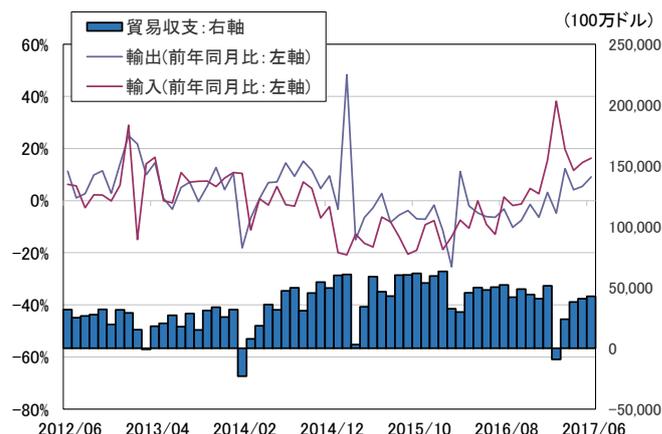
(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(2) 貿易動向

6月の貿易収支は+427.7億ドルとなり、黒字幅は前年同月より-51.4億ドル縮小し、11カ月連続のマイナスとなった。うち、輸出額(速報値、ドル・ベース)は1,965.9億ドルとなり、同+9.1%と4カ月連続の増加。輸入額は1,538.3億ドルとなり、同+16.3%と8カ月連続で増加した。

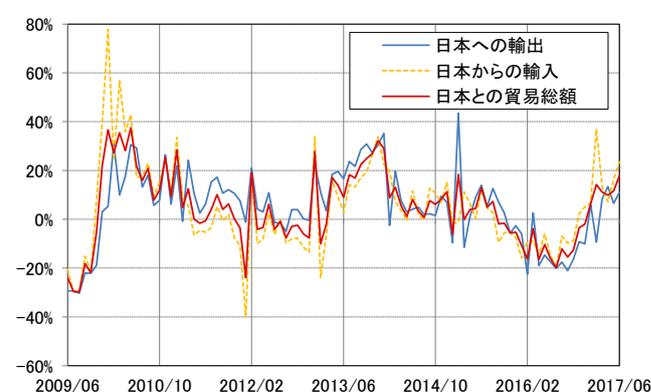
また、対日貿易収支は-35.6億ドルとなり、5カ月連続の赤字となった。対日輸出額は110.9億ドルとなり、前年同月比+5.5%と4カ月連続の増加。対日輸入額は146.5億ドルとなり、同+17.5%と11カ月連続で増加した。なお、円ベースでみると、対日輸出額は同+11.0%と4カ月連続の増加。また、対日輸入額は同+23.6%と8カ月連続の増加であった。

中国の貿易動向(ドル・ベース, 2017年6月まで)



(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

日本との貿易(前年同月比: 円ベース, 2017年6月まで)



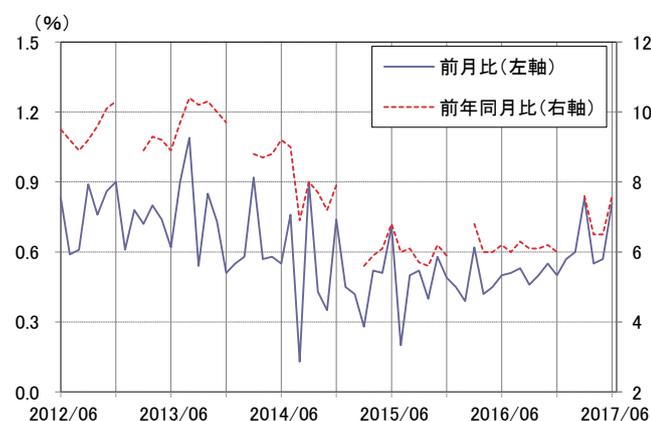
(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

(3) 工業生産

6月の工業生産は前月比+0.81%となり、伸びは前月から+0.24%ポイント上昇し、2カ月連続で加速した。また、前年同月比では+7.6%と、3カ月ぶりの上昇となった。

産業別に見ると、パソコン・通信設備製造業(前年同月比+14.6%)、医薬製造業(同+13.6%)、自動車製造業(同+13.1%)、などが高い伸びを示す一方で、非金属鉱物製品製造業(同+4.1%)、有色金属圧延加工業(同+3.5%)、鉄鋼などの精錬・圧延加工業(同+0.7%)などは、比較的低調な伸びにとどまった。

工業生産指数(2017年6月まで)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(4) 固定資産投資

1-6月期の(累積)固定資産投資(名目)は前年同期比+8.6%となり、1-5月期と同水準を維持している。

産業別に見ると、第1次産業は前年同期比+16.5%で、伸びは前月から-0.4%ポイント下落し、3カ月連続のマイナスであった。一方、第2次産業は同+4.0%となり、同+0.4%ポイント上昇し、2カ月連続のプラス。第3次産業は同+11.3%となり、同-0.3%ポイント下落し、3カ月連続のマイナスとなった。

固定資産投資 (2017年6月まで) (累積伸び率)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(5) 消費

1-6月期の社会消費品小売総額(名目)は前年同期比+11.0%となり、伸びは1-5月期から+0.3%ポイント上昇し、3カ月ぶりの改善。一方、社会消費品小売総額の実質値(APIR 推計)を見ると、伸びは同+0.5%ポイント上昇した。

社会消費品小売総額成長率の推移 (2017年6月まで)



(注) APIR 値は小売価格指数を用いて計算した値

(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(6) 物価水準

6月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比+1.5%上昇し、前月と同水準であった。また、生産者物価指数(PPI)は同+5.5%となり、こちらも前月と同水準を維持している。

消費者物価指数と生産者物価指数の推移(2017年6月まで)

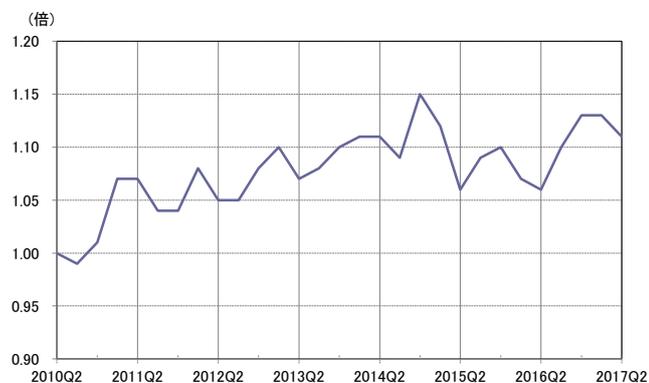


(出所) 中国国家統計局; CEIC データベース

(7) 求人倍率

4-6 月期の有効求人倍率は 1.11 倍となり、1-3 月期と比べて-0.02 ポイント低下した。求人倍率を地域別に見ると、東部は 1.05 倍で同-0.03 ポイントと 2 期連続の悪化。中部は 1.12 倍で同-0.04 ポイントと 3 期ぶりの悪化。西部は 1.26 倍で同+0.06 ポイントと 2 期ぶりの改善となった。

有効求人倍率(全国, 2017年4-6月期まで)

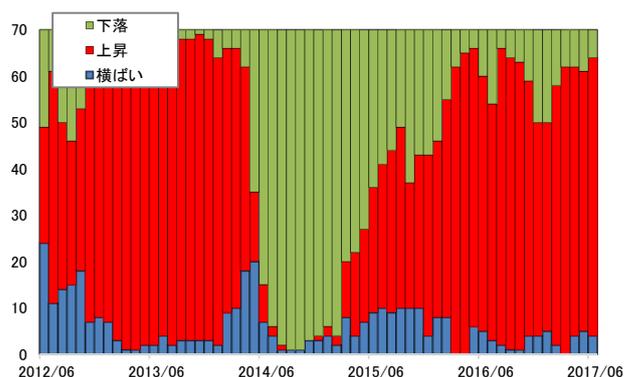


(出所) 中国労働市場情報観測センター; CEIC データベース

(8) 不動産市場

6 月の不動産市場は好調である。不動産価格(新築住宅価格)を見ると、中国主要 70 都市のうち、前月比で上昇したのは 60 都市(前月 56 都市)、下落したのは 6 都市(前月 9 都市)、横ばいが 4 都市(前月 5 都市)であった。

新築住宅価格の主要都市集計 (2017年6月まで: 都市数)



(出所) 中国国家統計局; CEIC データベース

(9) GDP

4-6 月期の実質 GDP 成長率は、前年同期比+6.9%となり、1-3 月期と同水準を維持した。結果、2017 年 1-6 月期までの実質 GDP 成長率は 6.9%となった。

産業別に見ると、第 1 次産業の成長率は前年同期比+3.8%、伸びは 1-3 月期から+0.8%ポイント上昇。第 2 次産業は同+6.4%で横ばいである。一方、第 3 次産業は同+7.6%となり、伸びは前期から-0.1%ポイント低下した。

リコノミクス指数(APIR 試算)と実質 GDP 成長率の推移
(2017年4-6月期まで)



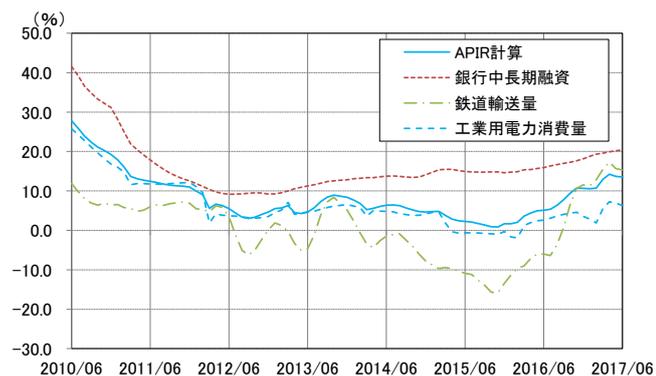
(出所) 中国国家統計局; CEIC データベース

(10) リコノミクス指数

6 月のリコノミクス指数(APIR 試算)は前年同月比+13.5%と前月から-0.2%ポイント小幅下落し、2 カ月連続のマイナス。内訳をみると、銀行中長期融資は同+20.4%と

なり、伸びは前月から+0.2%ポイント上昇し、18カ月連続で加速している。鉄道輸送量は同+15.3%となり、伸びは前月から-0.3%ポイント低下し、2カ月連続のマイナス。工業用電力消費量は同+6.4%となり、伸びは前月から-0.5%ポイント下落し、2カ月連続のマイナスとなった。

APIR 試算のリコノミクス指数とその内訳(2017年6月まで)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

Contact : 木下祐輔・生田祐介・Cao Thi Khanh Nguyet

Tel. 06-6485-7694,

E-mail. contact@apir.or.jp

【主要月次統計】

月次統計	16/6M	16/7M	16/8M	16/9M	16/10M	16/11M	16/12M	17/1M	17/2M	17/3M	17/4M	17/5M	17/6M
景況概況													
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、季節調整値)	40.0	46.0	45.6	44.7	47.3	52.1	54.4	50.9	50.1	48.3	47.9	50.1	51.7
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、季節調整値)	41.1	47.0	48.4	49.4	48.7	51.0	50.0	49.8	50.6	48.6	49.7	51.5	51.9
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、季節調整値)	41.2	43.8	46.0	46.3	48.4	51.4	51.4	49.8	48.6	47.4	48.1	48.6	50.0
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、季節調整値)	40.5	46.9	48.6	49.4	50.3	51.3	50.9	49.4	50.6	48.1	48.8	49.6	50.5
消費者心理・小売													
[関西]消費者態度指数(原数値)	42.4	41.4	41.9	42.6	41.3	39.7	41.3	42.2	41.7	43.1	43.1	43.0	43.2
[関西]「暮らし向き」(原数値)	41.0	40.5	41.1	41.9	40.3	38.0	39.5	41.4	40.2	41.4	41.2	42.0	41.3
[関西]「収入の増え方」(原数値)	41.6	39.8	40.8	41.7	39.9	39.6	39.2	40.5	39.7	41.0	41.4	42.4	41.6
[関西]「雇用環境」(原数値)	44.4	43.4	43.8	44.6	43.2	41.1	44.4	44.7	44.8	46.9	47.9	46.4	47.9
[関西]「耐久消費財の買い時判断」(原数値)	42.6	41.7	41.9	42.1	41.7	39.9	42.1	42.3	42.2	42.9	41.8	41.3	41.8
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	41.7	41.5	42.0	42.8	42.4	41.1	43.0	43.1	43.2	43.9	43.2	43.6	43.3
[関西]大型小売店販売額(10億円)	303.9	339.6	302.8	284.2	311.0	323.8	406.5	330.9	286.6	313.8	304.4	309.0	UN
[関西]大型小売店販売額(前年同月比、全店)	-1.5	0.5	-4.0	-4.6	-1.7	-1.0	-1.4	-0.6	-1.2	-1.4	0.4	-0.5	UN
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1,567.5	1,721.0	1,554.0	1,470.5	1,596.6	1,647.9	2,067.6	1,674.3	1,449.3	1,631.1	1,558.3	1,588.1	UN
[全国]大型小売店販売額(前年同月比、全店)	-0.7	0.9	-3.2	-2.7	-0.7	-0.1	-1.2	-1.0	-2.6	-0.9	0.8	-0.6	UN
住宅・建設													
[関西]新設住宅着工(戸数)	12,681.0	13,028.0	11,580.0	11,435.0	12,346.0	12,257.0	11,079.0	11,409.0	10,639.0	11,795.0	11,812.0	11,115.0	UN
[関西]新設住宅着工(前年同月比)	-11.5	27.6	-7.3	-2.2	-4.1	3.2	0.5	7.8	-4.0	-0.4	-9.5	4.1	UN
[全国]新設住宅着工(戸数)	85,953.0	85,208.0	82,242.0	85,622.0	87,707.0	85,051.0	78,406.0	76,491.0	70,912.0	75,887.0	83,979.0	78,481.0	UN
[全国]新設住宅着工(前年同月比)	-2.5	8.9	2.5	10.0	13.7	6.7	3.9	12.8	-2.6	0.2	1.9	-0.3	UN
[関西]マンション契約率(季節調整値)	70.4	70.8	73.8	69.1	70.9	73.7	72.7	81.2	76.5	70.9	78.3	76.4	77.9
[関西]マンション契約率(原数値)	73.3	74.6	73.8	68.1	71.8	75.4	69.2	75.1	74.5	73.3	78.2	79.9	80.2
[全国]マンション契約率(季節調整値)	67.3	60.2	68.9	73.2	64.0	61.3	79.6	63.7	67.2	64.0	66.5	79.3	65.0
[全国]マンション契約率(原数値)	69.6	63.3	66.6	72.0	61.6	62.5	76.6	61.6	68.4	66.2	66.3	79.9	67.2
[関西]公共工事前払保証額(10億円)	172.9	175.1	136.4	151.7	116.3	75.4	95.8	60.9	68.1	118.1	201.8	147.3	122.4
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比)	-13.7	30.1	32.2	18.0	-5.5	-11.7	-1.5	-5.4	-14.9	-6.2	-27.8	20.0	-29.2
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	1,527.8	1,361.8	1,247.3	1,471.6	1,127.3	822.0	851.4	699.7	769.3	1,485.9	2,064.6	1,242.1	1,518.5
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比)	-1.8	-6.9	12.7	18.1	-10.0	-5.7	5.3	7.1	10.4	10.9	1.7	8.5	-0.6
[関西]建設工事(総合、10億円)	476.6	496.6	530.6	551.5	580.6	597.5	599.1	589.8	583.1	557.2	470.9	4,651.4	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比)	-1.0	0.9	6.9	8.2	9.6	8.7	5.7	6.6	5.7	7.1	3.9	3.0	UN
[全国]建設工事(総合、10億円)	3,756.9	3,943.7	4,185.3	4,503.7	4,704.9	4,767.6	4,795.4	4,727.3	4,636.8	4,607.2	3,902.3	3,903.1	UN
[全国]建設工事(総合、前年同月比)	1.0	0.5	0.0	2.6	1.6	1.5	1.6	2.8	2.9	4.5	9.1	10.5	UN
[全国]建設工事(公共工事、10億円)	1,396.9	1,478.2	1,626.0	1,849.8	1,999.0	2,034.4	2,068.4	2,049.1	2,008.4	2,036.8	1,450.6	1,428.6	UN
[全国]建設工事(公共工事、前年同月比)	-4.0	-4.7	-5.3	-0.9	-3.3	-4.6	-4.3	-2.1	-1.2	1.7	6.4	10.3	UN
生産													
[関西]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	102.5	102.3	104.0	106.5	105.5	107.6	109.5	105.8	108.0	107.7	110.2	106.1	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	-0.6	-0.2	1.7	2.4	-0.9	2.0	1.8	-3.4	2.1	-0.3	2.3	-3.7	UN
[関西]「出荷指数」(原数値、前年同月比)	-1.0	-3.3	2.8	4.4	1.3	9.1	6.0	3.7	4.2	0.9	4.6	4.0	UN
[関西]「在庫指数」(原数値、前年同月比)	2.7	0.5	1.3	2.4	-1.7	-7.1	-5.1	-2.7	-2.6	-1.0	3.0	3.0	UN
[関西]「出荷指数」(季節調整値、10年=100)	100.5	101.4	101.6	103.7	103.9	106.1	106.3	101.3	103.6	105.2	106.2	103.5	UN
[関西]「在庫指数」(季節調整値、前月比)	-0.8	0.9	0.2	2.1	0.2	2.1	0.2	-4.7	2.3	1.5	1.0	-2.5	UN
[関西]「在庫指数」(季節調整値、10年=100)	120.3	118.6	119.7	120.8	115.8	110.0	112.1	115.1	115.5	117.5	122.9	124.3	UN
[関西]「在庫指数」(季節調整値、前月比)	-0.3	-1.4	0.9	0.9	-4.1	-5.0	1.9	2.7	0.3	1.7	4.6	1.1	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	97.0	97.0	98.3	98.6	98.9	99.9	100.6	98.5	101.7	99.8	103.8	100.1	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	1.5	0.0	1.3	0.3	0.3	1.0	0.7	-2.1	3.2	-1.9	4.0	-3.6	UN
[全国]「出荷指数」(原数値、前年同月比)	-1.6	-3.8	1.8	0.8	-1.8	5.0	2.4	4.2	3.7	3.5	4.9	5.4	UN
[全国]「在庫指数」(原数値、前年同月比)	-0.5	-2.4	-2.1	-2.7	-3.6	-5.5	-5.3	-5.0	-3.9	-4.0	-1.1	-1.3	UN
[全国]「出荷指数」(季節調整値、10年=100)	95.7	96.0	96.2	96.8	97.9	98.9	98.9	97.8	99.2	98.4	101.1	98.2	UN
[全国]「在庫指数」(季節調整値、前月比)	1.1	0.3	0.2	0.6	1.1	1.0	0.0	-1.1	1.4	-0.8	2.7	-2.9	UN
[全国]「在庫指数」(季節調整値、10年=100)	112.4	110.5	110.5	109.9	108.5	106.6	107.3	107.4	108.1	109.7	111.3	111.3	UN
[全国]「在庫指数」(季節調整値、前月比)	-0.4	-1.7	0.0	-0.5	-1.3	-1.8	0.7	0.1	0.7	1.5	1.5	0.0	UN
労働													
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比)	1.5	-0.4	-0.4	-0.1	-0.3	-0.6	1.2	0.2	-0.1	0.6	0.4	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比)	1.5	-1.1	-0.5	-0.4	-0.5	-0.3	0.6	-0.1	-0.4	0.5	-0.1	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比)	1.4	1.2	0.0	0.0	0.1	0.5	0.5	0.3	0.4	0.0	0.5	0.6	UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	3.7	3.4	3.6	3.6	3.3	3.3	3.3	2.7	3.2	3.2	3.0	3.3	UN
[関西]完全失業率(原数値)	3.7	3.6	4.1	3.8	3.3	3.0	2.9	2.8	3.3	3.2	2.9	3.2	UN
[全国]完全失業率(季節調整値)	3.1	3.0	3.1	3.0	3.0	3.1	3.1	3.0	2.8	2.8	2.8	3.1	UN
[関西]新規求人倍率(季節調整値)	1.98	1.94	2.01	2.06	2.02	2.12	2.14	2.05	2.08	2.04	2.11	2.39	UN
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	2.03	2.03	2.07	2.10	2.11	2.15	2.19	2.13	2.12	2.13	2.13	2.31	UN
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	1.28	1.29	1.28	1.29	1.31	1.33	1.34	1.34	1.35	1.36	1.41	1.44	UN
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	1.36	1.37	1.37	1.38	1.40	1.41	1.43	1.43	1.43	1.45	1.48	1.49	UN
国際貿易													
[関西]純輸出(10億円)	221.6	178.4	95.1	154.4	198.9	75.7	289.0	-193.8	356.5	222.8	175.2	93.4	169.7
[関西]輸出(10億円)	1,281.8	1,199.9	1,177.8	1,263.7	1,245.9	1,251.1	1,418.9	1,090.9	1,353.4	1,476.8	1,335.6	1,239.8	1,383.4
[関西]輸出(前年同月比)	-7.3	-12.7	-9.4	-8.9	-10.9	1.1	6.0	-1.7	12.8	10.4	5.9	12.4	7.9
[関西]輸入(10億円)	1,060.2	1,021.5	1,082.7	1,109.3	1,047.0	1,175.4	1,129.9	1,284.7	996.9	1,254.0	1,160.4	1,146.3	1,213.7
[関西]輸入(前年同月比)	-15.1	-25.2	-12.2	-11.9	-19.3	-7.2	-3.6	9.6	-6.0	12.3	11.2	13.4	14.5

注：鉱工業生産 輸送機械工業は銅船・鉄道車両除く。

Release Calendar for July/August

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
3-Jul 消費動向調査(6月)	4-Jul	5-Jul	6-Jul	7-Jul 毎月勤労統計 (5月:速報値)
10-Jul 景気ウォッチャー調査 (6月) 近畿貿易統計 (4月確報) 近畿貿易統計 (5月確速) 中国 PPI&CPI (6月)	11-Jul 近畿鉱工業生産指数 (5月速報)	12-Jul	13-Jul 商業動態調査 (5月:確報値) 中国輸出入 (6月:速報値)	14-Jul 全国鉱工業生産指数 (5月:確報値) 公共工事前払保証額 統計(6月)
17-Jul 中国工業生産(6月) 中国固定資産投資 (6月) 中国消費小売総額 (6月) 中国不動産市場 (6月)	18-Jul 建設総合統計(5月) マンション契約率 (6月)	19-Jul	20-Jul 全国貿易統計 (6月:速報) 出入国者数(6月) 近畿貿易統計 (6月速報)	21-Jul 毎月勤労統計 (5月:確報値)
24-Jul	25-Jul 出入国管理統計(5月)	26-Jul 近畿鉱工業生産指数 (5月確報)	27-Jul	28-Jul 全国貿易統計 (6月:確速) 商業動態調査 (6月:速報値) 求人倍率(6月) 完全失業率(6月)
31-Jul 全国鉱工業生産指数 (6月:速報値) 新設住宅着工(6月)	1-Aug	2-Aug 消費動向調査(7月)	3-Aug	4-Aug 毎月勤労統計 (6月:速報値)